

5 笠岡の歴史と伝統文化の保存に関する事業

実施事業	白石踊後継者育成事業（商工観光課）
総事業費	932,300円
ふるさと納税充当額	900,000円

国の重要無形民俗文化財で、岡山県下三大踊の一つ「白石踊」を絶やすことなく後世に伝承するための一助として、踊り手の高齢化が進み、将来的な存続が危ぶまれている白石踊会に対して、後継者育成の活動を行いました。

市内で定期練習を実施し、後継者の技術向上を図るとともに、白石島外での講座実施等により、新規白石踊会員の増加につなげました。

実施事業	木山捷平生家維持管理事業（生涯学習課）
総事業費	1,224,253円
ふるさと納税充当額	1,041,370円

木山捷平は笠岡市山口出身の詩人・小説家です。その生家は明治末頃の建築で、木山捷平の作品の世界観をよく残しています。平成30年度にご遺族から寄附を受けて以降、生家を良好な状態で後世に伝えるために少しずつ補修工事を行ってきました。令和2年度には畳の入替え、電気設備工事を行いました。畳が新しくなり、室内に照明がとまるようになったことで、将来の活用に向けて環境が整ってきました。

また、文化財的な価値を把握するために、専門家による建造物調査を実施しました。除草や清掃等の日常管理も継続し、良好な環境を保てるよう努めています。



照明が点灯した木山捷平生家の屋内

実施事業	竹喬美術館輸送・展示・撤収業務委託（生涯学習課）
総事業費	5,208,503円
ふるさと納税充当額	4,000,000円

令和2年度は、竹喬美術館において6回の展覧会を開催しました。美術品の取扱いには高度な技術を求められ、展覧会に係る作品の借用、輸送、展示、撤収業務を美術品梱包輸送技能士の資格を有する作業員がいる業者に委託しています。

【令和2年度展覧会】

- ①特別陳列 京都の日本画 -大正時代を中心として- 4/1～5/10
- ②特別陳列 賛嘆 日本画の素描 5/16～8/10
- ③特別陳列 猪原大華と岩倉壽 8/29～10/11
- ④特別展 名都美術館名品展 優艶なる日本画 10/17～12/13
- ⑤特別陳列 瀬戸内の日本画家たち 12/19～3/14
- ⑥特別展 絵本作家 葉祥明 -風景に託すはるかな想い- 3/20～3/31



名都美術館名品展
特別ギャラリートーク



名都美術館名品展
ギャラリートーク

実施事業	笠岡ふるさと再発見事業（生涯学習課）
総事業費	166,294円
ふるさと納税充当額	100,000円

令和2年度で6回目となった「笠岡へ愛着を持ち隊」は、小学生とその保護者に、笠岡の良いところに訪れる機会を提供し、笠岡のことをもっと知って、好きになってもらうことを目指しています。具体的には市内の小学生とその保護者に、『文化財めぐりハンドブック』に掲載された市内の文化財や文化施設を巡り、そのレポートを作成してもらいます。また、応募者全員に笠岡市の文化財クリアファイルを贈呈しています。

令和2年度は、募集の結果、34人からの応募があり、134点のレポートが集まりました。審査を経て賞に選ばれた力作を市立図書館と市役所の1階に展示し、来館・来庁された皆さんに見ていただきました。

実施事業	井笠鉄道記念館管理事業（生涯学習課）
総事業費	864,538円
ふるさと納税充当額	770,000円

笠岡市井笠鉄道記念館には、毎年多くの方が市内外から訪れます。平成27年度から管理をしている新山地区自治会が、来客対応をはじめ施設の清掃や小修繕などを行っており、地域の人たちが記念館に愛着を持って見守ってくれています。また、屋外に展示されている機関車や客車は、コロナ禍でも来館者を楽しませています。

さらに、40年近く前に設置された駅名標識板が経年劣化していたため、このたび新調しました。

これからも、地域の歴史を伝えるとともに、子どもから大人まで多くの方に愛される施設となるよう努めていきます。



新調された駅名標識板